

マルチパーパスFCEVの給電技術を活用した新たな水素利活用モデルの構築

団体名：トヨタ自動車株式会社、福島県双葉郡浪江町、株式会社エナジア、郡山観光交通株式会社
発表日：2025年7月17日

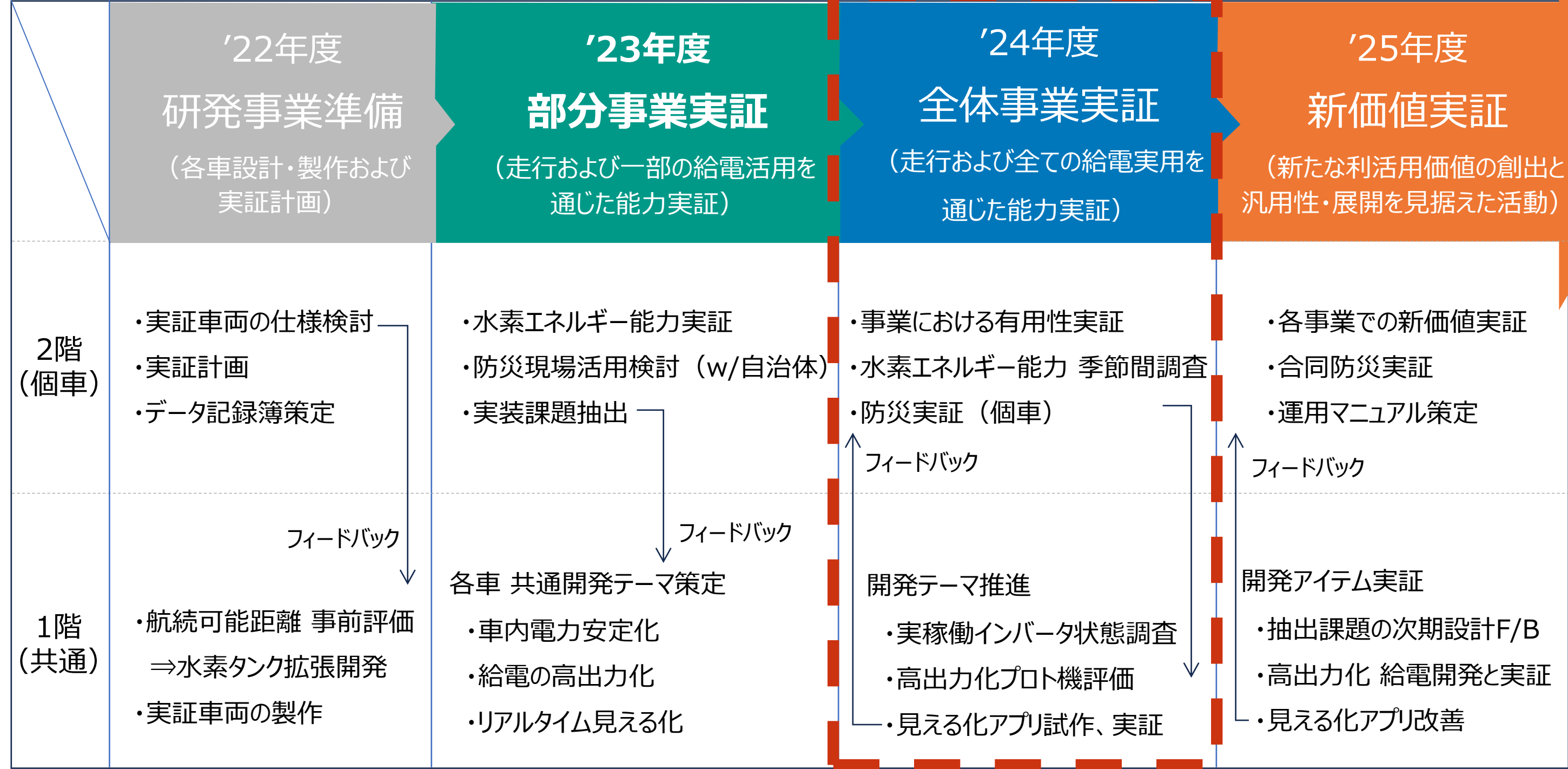
1. 助成事業目的と研究開発体制

目的：FCEVの「走る」機能に加え、水素の持つ「電力」に着目
マルチパーパスFCEVを通じた水素利活用を提案し、水素普及を促進



2. 推進計画と進捗

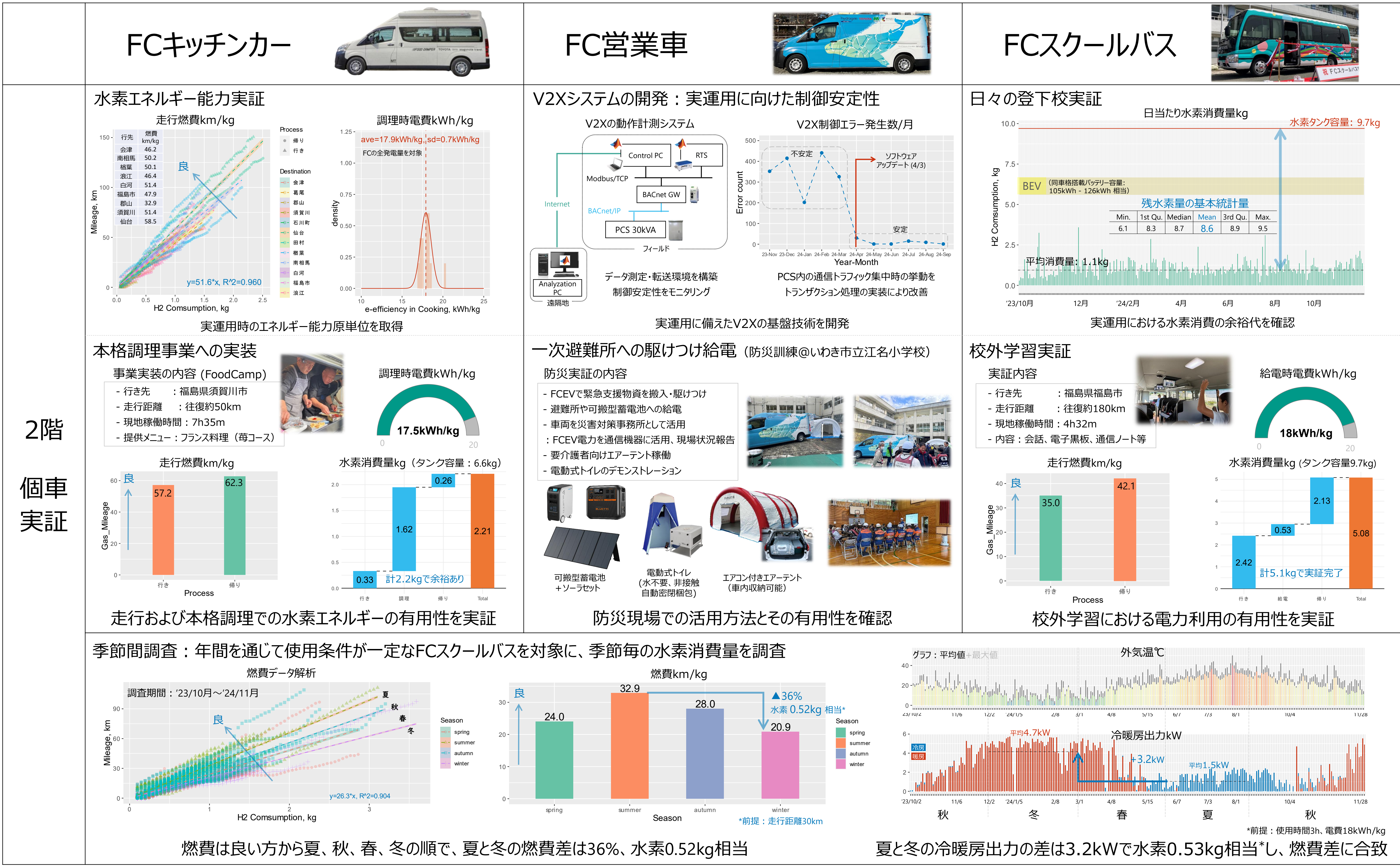
’22年度より開始し、’23年度に水素エネルギー能力調査等を実施



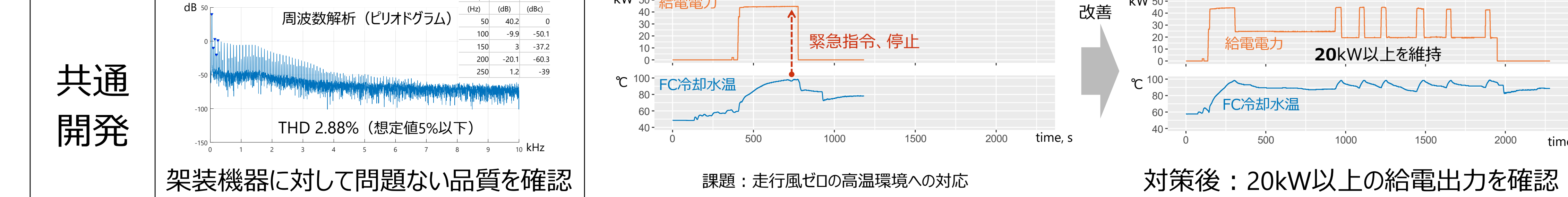
個車(2階)と共通(1階)の2階建てのテーマで研究開発を推進

’24年度は、全体事業実証を通じた季節間調査や防災実証等を実施

3. ’24年度実証結果および考察



1階 共通開発



4. 今後の計画

- 新価値実証：電動車特有の調理や移動教室における環境改善調査、高出力給電実証、全車合同防災等
- 今後の事業展開に向けた取り組み：ノウハウ総括と他地域展開のためのマニュアル作成等

連絡先：トヨタ自動車株式会社 CJP企画部 兼務 水素製品開発部
半谷 智弘（tomohiro_hangai@mail.toyota.co.jp）